

小林中駅伝部、8年ぶりの九州大会へ

11月26日、宮崎大会で2位に入賞し、8年ぶりに九州大会へ出場する小林中陸上駅伝部が市長を表敬訪問しました。宮崎皇城キャプテンは「全区間で自己新記録を目指して頑張ります」と抱負を語りました。



市内の小中学校へ竹ほうきを寄贈

11月24日、小林ライオンズクラブ（小水流正利会長）から細野小学校へ竹ほうき30本が贈られました。児童会運営委員長の川原侑紀さんは「みんなで校舎をきれいにします」と話していました。



兄弟で全国の猛者に挑戦

11月24日、JKJO全日本空手道選手権大会へ出場する実戦空手道魁寺田塾の寺田耐くん（たくみ）と匠くんが市長を表敬訪問しました。兄の耐さんは「普段通りの実力を出したい」と意気込みを語っていました。



快挙！九州大会で準優勝

11月30日、宮崎大会で優勝、九州大会で準優勝を獲得した小林西高等学校フットボール部が市長を表敬訪問しました。川橋亜優主将は「次の大会に向けて、大切に準備していきたい」と抱負を語りました。



稽古納めに拳で餅つき

12月12日、野尻町農村環境改善センターで空手道飛鶴会の餅つきが行われました。生徒や子どもなど約80人が参加。日頃に鍛えた拳を使って、元気に餅をついていました。



誘致企業認定の四位農園と企業立地協定締結

11月26日、県と市の誘致企業に認定された有限会社四位農園との企業立地調印式がありました。四位農園では、需要の増加に応えるよう既存の加工場に冷凍施設を増設。新規雇用約23名を見込んでいます。四位廣文社長は「次世代まで踏まえた事業を展開していきたい」と語りました。



協定を結んだ関係者（四位社長：左から3番目）。「農業振興の模範となる企業であり、活躍に期待しています」と肥後市長。



読書まつりではこのほか、フルーツやハーブの演奏、小林ジュニアコースによる合唱などが披露されました。

本はともだち 読書まつり開催

11月26日、文化会館で読書まつりが開催されました。パネルディスカッションでは、子どもの笑顔が輝くまちづくりについて絵本作家の小林豊さん、母親代表の里岡小愛さん、地域代表の大蘭良一さんが意見交換。小林さんは「活気あるまちは声が溢れている。あいさつなどの声を次の世代に伝えることが大切」と話しました。

華麗な演技と迫力の技 新体操演技会を開催

11月27日、市民体育館で新体操演技会が開催されました。小学生から一般までの個人と団体が市内外から参加し、日頃の練習の成果を披露。華麗で繊細な演技と、迫力満点の技の連続に、満員となった会場からは大きな歓声と、割れんばかりの拍手が送られました。



【写真左】トリを飾った秀峰高校の三段タワー。【写真上】宮崎県出身で世界新体操選手権で日本代表の白高舞選手。



交付式では、のぼり旗のほか、小林地区防犯協会から防犯グッズも提供されました。

年末年始は特にご注意ください 飲酒運転根絶のぼり旗を交付

12月1日、市交通安全対策協議会から小林地区建設業協会や県タクシー協会小林支部など7団体に、飲酒運転根絶を呼びかけるのぼり旗を交付しました。垂水保樹小林警察署交通課長は「年末年始は飲酒の機会が増える。地域で飲酒運転をさせない」という啓発が大切」と話していました。



小林市出身の2選手が大活躍 JHL in こばやし大会開催

12月4日、日本ハンドボールリーグ小林大会が市民体育館で開催されました。小林市出身の木切倉真一選手と甲斐昭人選手（トヨタ車体）が出場。木切倉選手が先制点などでチームを牽引すれば、甲斐選手も好守を連発し、宮崎大輔選手擁する大崎電気に勝利する原動力となりました。